

パトロール続けて20年！ 継続は力！



平均年齢80歳、まだまだ現役奮闘中の「下府二区環境・防犯パトロール隊」を紹介します。

結成のきっかけ

平成14年7月ごろに松林で不審者情報やばや騒ぎなどがあつたため、町および下府二区長は、当時環境保全の活動をされていた下府二区シニアクラブ松寿会に対してパトロール隊設立の要請をしました。その要請を受け、会員内で声をかけ合い有志を募り「下



府二区環境・防犯パトロール隊」が結成されました。

会員のみなさんは、当初は「活動に参加することに自信がなかった」とのことですが、日ごろからシニアクラブ松寿会の活動を通じてコミュニケーションが取れていたこともあり、地域を自分たちの手で守ろうと27人の隊員でスタートしました。

主な活動内容

毎週土曜日と日曜日の夕方に一時間程度、四人一組になり、環境・防犯パトロールをしています。

夏は新宮海岸や松林の保全を目的とした清掃作業、冬は下府二区内の防犯パトロールや区内の清掃作業を行っています。

その他にも町主催のクリーン作戦や歳末町内一斉安全安心パトロール、新宮神社の清掃作業や子ども会育成会との交流など、地域に密着した活動を行っています。

昨年度は粕屋地区地域安全大会で、粕屋警察署と粕屋地区防犯協会から連名での感謝状を授与されました。日ごろの地域安全活動などの犯罪の起きにくい社会づくりの推進が評価されたものです。



活動に同行してみました

現在パトロール隊は、下府二区シニアクラブ松寿会の会員17人で構成され、66歳から93歳までの隊員が在籍しており、平均年齢80歳で活動をされています。日ごろからシニアクラブでのゲートボールやグランドゴルフに参加し、健康維持や親睦を深めているため、フットワークの軽さとチームワークの良さは抜群です。夏の新宮海岸や松林のパトロールでは、持参したごみ袋がいっぱいになることもあります。

●隊員の健康の秘訣●



笠井隊員

ストレスを溜めないこと



田中隊員

週2回の立花山登山



下府二区環境・防犯パトロール隊
 【隊長】 江浦 功典
 【隊員数】 17人(令和4年8月時点)
 【発足年】 平成14年7月

3年ぶりに新宮海水浴場が開設された今年の夏は、来場者が多いわりにはごみの量は少なかったとのことでした。

また、近年ではたばこの吸い殻や空き缶、ペットボトルのようなごみは減っており、マナーも少しずつ向上しているようです。これも20年間反射ベストを着用しての絶え間ない活動の成果がでているのではないかと隊員は話されました。

冬のパトロールでは、区内のひとり暮らしの家の前を通る際には声をかけ、元気な声が返ってくるかとほっとされるそうです。時には活動中に相談ごとを受けることもあるとのことでした。

活動後には毎回日誌をつけ、パトロールして気づいたことなどを引継ぎながら、地域の安全を守るために活動がされています。

公民館横の公園で遊んでいた下府二区在住の中学1年生に、下府二区環境・防犯パトロール隊について聞いたところ「いつも地域の環境を守ってくれて感謝の気持ちでいっぱいです」と答えました。



▲取材でさまざまなお話を聞くことができました

活動中に「ご苦労さま」と声をかけてもらうことが励みになります。近所の子もたちからも普段もあいさつをされるようになり、活動をやっていてよかったです。



蜂屋隊員

隊員のこえ



小宮隊員

活動時にはみんなが毎回、ケガなく無事に帰ってくることに気を付けています。

最後に隊長から

今年で1つの節目である結成20年。下府二区の財産であるこの活動で大事なことは「予防と継続」。なんでも未然に防ぐことができるように、これから先の長い年月を見据えて地元へ寄り添った活動を今後も続けていきたいです。



江浦隊長

今後の課題は、隊員数を増加させること。コロナ禍でシニアクラブの活動ができないため、シニアクラブの会員が増えないと、隊員の増員も見込めない。早くコロナ禍の前のようにシニアクラブの活動ができる世の中になってほしいです。



堺(潤)隊員